

ご使用时には、自然を守る心配りも忘れずに!



取扱説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

本製品は、登山、ハイキングの歩行補助用ステッキとして設計・製作されております。

本製品を正しく安全にご使用頂くために、この説明書は必ずお読みください。またいつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

この説明書以外に、付属の説明書やタグ等がある場合は、そちらもよくご覧になり、本取扱説明書と一緒に保管をお願いします。

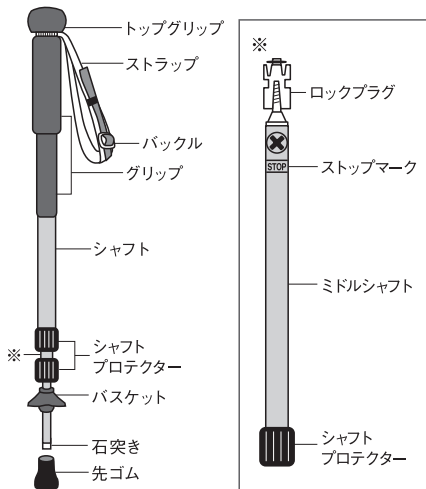
本製品についてのお問い合わせは
下記宛にお願い致します。

 **SINANO** 株式会社シナノ

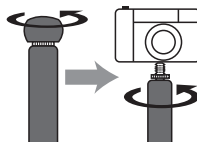
〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1
TEL: 0267-67-3324 (お客様相談室)

14.06A

主要各部の呼称



カメラ、ハンディビデオの取付け方法



- ① トップグリップを外す。
- ② グリップ頭部のネジにカメラ (又はハンディビデオ) をしっかりと取付ける。

⚠ 危険!

- 1 トップグリップを外したまま使用しないでください。危険です。

外したトップグリップは、**無くさないように保持してください**。カメラ使用後は**必ずトップグリップを装着してください**。

- 2 カメラはしっかりと取付けてください。中途半端な固定は、カメラを傷めたり、手ブレの原因となります。

カメラ等の故障に関しては**一切補償対象とはなりません**。撮影時の取扱いは**自己責任**において**充分注意し、おこなってください**。

- 3 カメラ等を取付けたまま、持ち運び・保管はしないでください。カメラを傷めたり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

本製品を使用して撮影したとしても、**確実にきれいに撮影できるとは限りません**。カメラの性能、撮影時の条件、撮影技術等による影響もあることをご理解ください。

お客様による修理、分解、改造は大変危険ですので、**絶対にしないでください**。

長さ調節方法(スクリュー・タイプ)

- ① 太いシャフト側を握る。
- ② 細いシャフトを反時計回り(左方向)に回すとゆるむ。
- ③ 長さを決めてから、細いシャフトを右に回し、しっかりと固定する。



⚠ 注意

- 1 ストップ・マークを超えて使用しないでください。このマークを超えると、**強度が落ち危険です**。



- 2 過度の力による締め付けは**ロックプラグの故障の原因**となりますので、おやめください。
- 3 締め付けの際はシャフトをしっかりと持って力を加えてください。
- 4 使用前後及び使用中に、**ロックプラグが締まらなくなる、または緩めることができない**

い場合は**故障**です。**使用を中止**し、お買い上げ店までお問い合わせください。

- 長さ調節後は、シャフトを十分に固定し、軸方向に圧縮力をかけて、シャフトが縮まないことを確認してからご使用ください。また、長さ調節の際に十分にしめ付けて固定しても、**シャフトが縮むことがあります**。長時間歩行した時や大きな段差での使用時は、緩みやすいので、特にご注意ください。
- 使用時の状況に合わせて、使い易い長さに調節してご使用ください。極端に不適切な長さの状態で使用することは非常に危険です。
- お子様や年配の方がご使用の時は、周囲の方がシャフトが固定状態にあることを確認してください。

バスケットについて

装着されているバスケットは取外しができます。

⚠ 注意

- バスケットは、軟らかい地面（ぬかるみ、深いジャリ道、里雪道など）で、ステッキの沈み込みを防ぐためのものです。使用時の状況に合わせてご使用ください。
- 装着されているバスケットは、**雪山用ではありません**。雪山で使用する場合は、お買い上げ店や専門家の方にご相談ください。
- 歩行中に木の枝や石の間に、バスケットが引っ掛かることがあります。このようなときは無理に

ステッキを引張ったりしないでください。バランスを崩し、思わぬ事故につながる**危険**があります。

- バスケットを取付けるときは、**確実に取付け**てください。中途半端な取付けは危険であり、紛失の原因ともなります。また、使用中も時々点検をしてください。

⚠ 危険！ お取り扱い注意

- 本製品は登山、ハイキング用に設計・製造されています。これ以外の目的や、高齢者の歩行補助や松葉杖などの医療用の用途に使用しないでください。転倒などの恐れがあります。また、登山用ピッケルの代用、岩登りの支点としては絶対に使用しないでください。
- ステッキに全体重を掛けることはしないでください。
- 落雷の恐れのある時は使用しないでください。
- シャフトは横方向の力に対して破壊しやすいので、石突きを岩の割れ目や隙間に入れたり、ねじったりしないでください。
- 腰掛けなどに使用しないでください。
- シャフト強度を超えて使用すると、折れたり曲がったりして危険です。またシャフトの曲がりにより伸縮ができなくなります。
- 移動時（バス、電車内など）や保管時は、石突きに先ゴム又はこれに代わるものを必ず装着し、安全の確保をしてください。

- 8 振り回したり、他の人が危険な状態になるような行為はしないでください。使用中も前後の状況に配慮してご使用ください。
- 9 滑り易い地面では先ゴムを外してご使用ください。石突き部はその性質上鋭利な形をしていますので、充分気をつけて取扱をお願いします。
- 10 先ゴムがすり減った時は、速やかに交換をしてください。その際は、本製品指定の専用パーツをご使用ください。
- 11 先ゴムは着脱可能です。移動中や使用中に紛失しないようご注意ください。

保守・点検について

- 1 使用前及び使用中にも本製品に異常がないか各部を十分に点検してください。その際、次のような状態を発見したときは使用しないでください。
 - シャフトのキズ、変形、ひび割れなど
 - 各パーツ（“主要各部の呼称”図参照）のゆるみ、亀裂、変形など
- 2 使用後はシャフトを抜いて、水分を拭き取り、内部を乾燥させてから保管してください。（雨、雪などで濡れた時は特に注意。）そのまま放置すると、内側が錆びて動きにくくなります。
- 3 油やオイルなどの潤滑剤は絶対に使用しないでください。シャフトが滑り固定できなくなります。

- 4 熱源の近く（ストーブなど）には置かないでください。グリップやストラップなどが変形したり、ヤケドをする恐れがあります。また、極度に低温になるところに置くと、シャフト部が凍ったり、各部の機能が低下することがありますのでご注意ください。
- 5 保管する時は直射光の当たらない、屋内の乾燥した場所に保管してください。また長期間使用しないときも、シャフトをぬき、内部を乾燥させてから保管してください。

次の点にもご注意ください。

- 1 使用時は樹木などを傷つけないように配慮してください。
- 2 使用しないで持ち運ぶ時は、袋などのケースに入れるか、各シャフト同士必ず固定し、ザック等に収納してください。固定せず持ち運ぶと、**シャフトが抜落ち、紛失する恐れがあります。**
- 3 破損後などの廃棄に際しては、各行政の指示に従い、不燃物として、必ず分別廃棄してください。

アフター・サービスについて

この製品や部品の修理等については、お買上げ店までお申し出ください。修理の際には改良品や同等の代替品を使わせて頂くことがあります。